

「岐阜テクノアダイヤモンドリバーズ」

新設の県民球団
命名権契約結ぶ

日本地域プロ野球リーグ機構(JRPB)の日本海リーグに来季の加入を目指す岐阜県民球団「岐阜アダイヤモンドリバーズ」の球団運営会社「Green Light Project」(飯田祥多社長)は16日、業務用ソフトウェア開発の「テクノア」(岐阜市、山崎耕治社長)とネーミングライツ(命名権)のスポンサー契約を結び、チーム

名を「岐阜テクノアダイヤモンドリバーズ」に変更したと発表した。契約期間は3年間の予定。



調印式で握手を交わす飯田祥多社長(右)と山崎耕治社長。岐阜市本荘中ノ町、テクノア

同市本荘中ノ町のテクノアで8日に調印式が開かれた。飯田社長は「勝利だけを目指す球団ではなく、子どもたちが夢を持ち、地域企業が元気になり、岐阜に

誇れる球団を目指す」、山崎社長は「自分たちの仕事も岐阜の未来につながるのだからと感じられる球団になってほしい」とそれぞれコメントした。(奥澤優芽)